

実績が語る力:TIS インテックグループとは

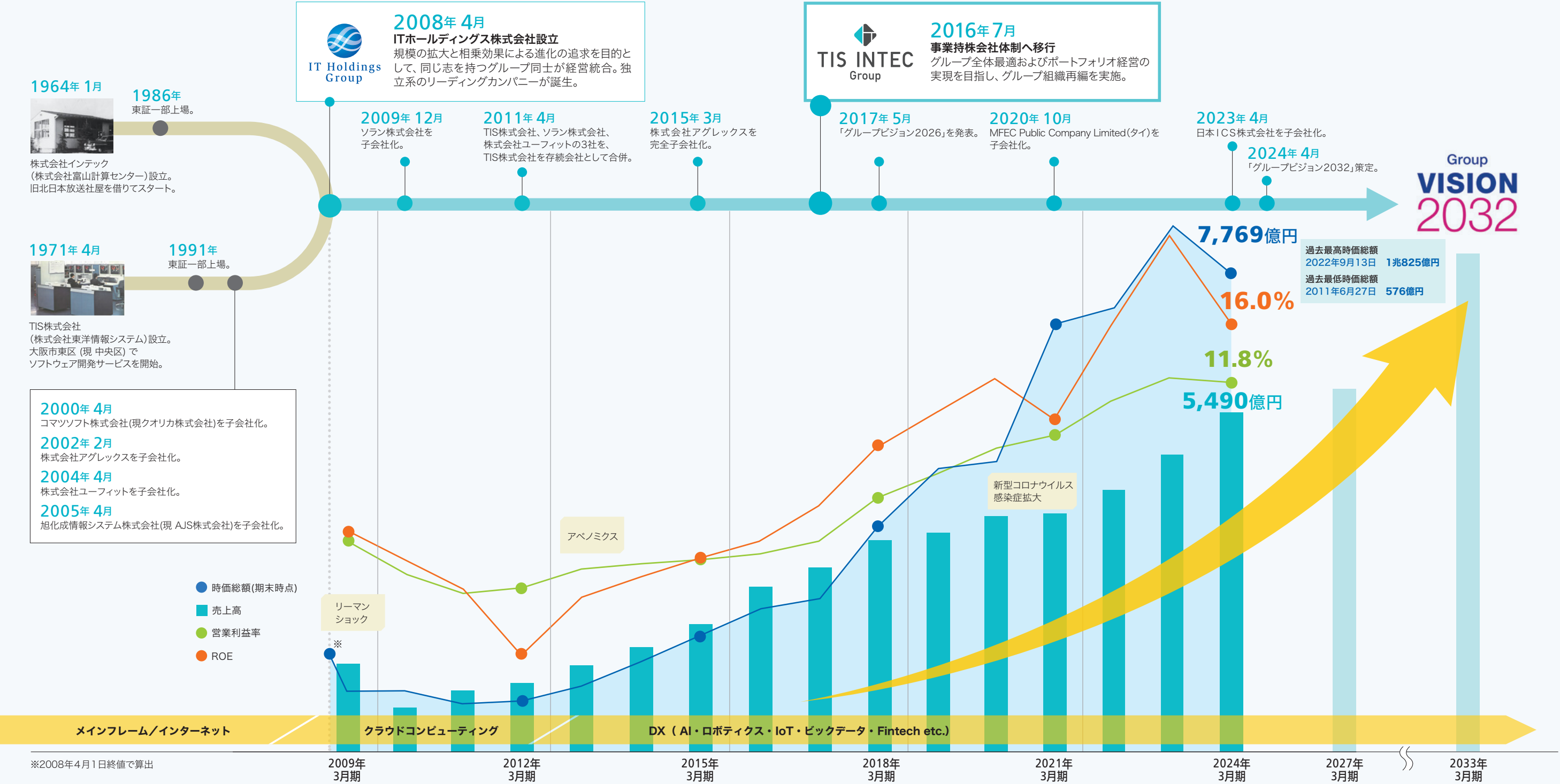
成長の軌跡	11
TISインテックグループについて	13
数字で見る TISインテックグループ	15
ITサービス市場における位置付け	17

成長の軌跡

当社グループは、長年培ってきた先進技術・ノウハウを駆使して、新しい社会の活力を創造し、お客様とともに社会の期待を超え人々の幸せに貢献することを目指しています。

デジタル技術による社会発展への貢献という変わらぬ願い・使命のもと、これからもさらなる成長を果たし、持続可能な社会への貢献と持続的な企業価値向上の実現に向けて挑戦し続けます。

事業持株会社体制移行後の推移		
2016年7月の事業持株会社体制への移行を契機に、グループ一体経営の推進力が強まりグループの成長が大きく加速。時価総額も順調に拡大。		
	2016年3月期	2024年3月期
売上高	3,826億円	5,490億円
営業利益率	6.4%	11.8%
ROE	7.0%	16.0%
時価総額	2,338億円	7,769億円



イントロダクション

実績が語る力... TIS インテックグループは

未来を切り拓く... 長期ビジョンと価値創造ストーリー

価値創造への道筋... 中期的な成長戦略とコミットメント

成長を支える基盤... 経営高度化とステークホルダーエンゲージメント

データ編

TISインテックグループの3つの特徴・強み

1.

強固な経営基盤

「幅広い顧客基盤」「充実した事業基盤」「安定した財務基盤」の3つの要素から構成され、事業を推進する大きな原動力に加え、良好な財務健全性と資本効率性を有しています。
2.

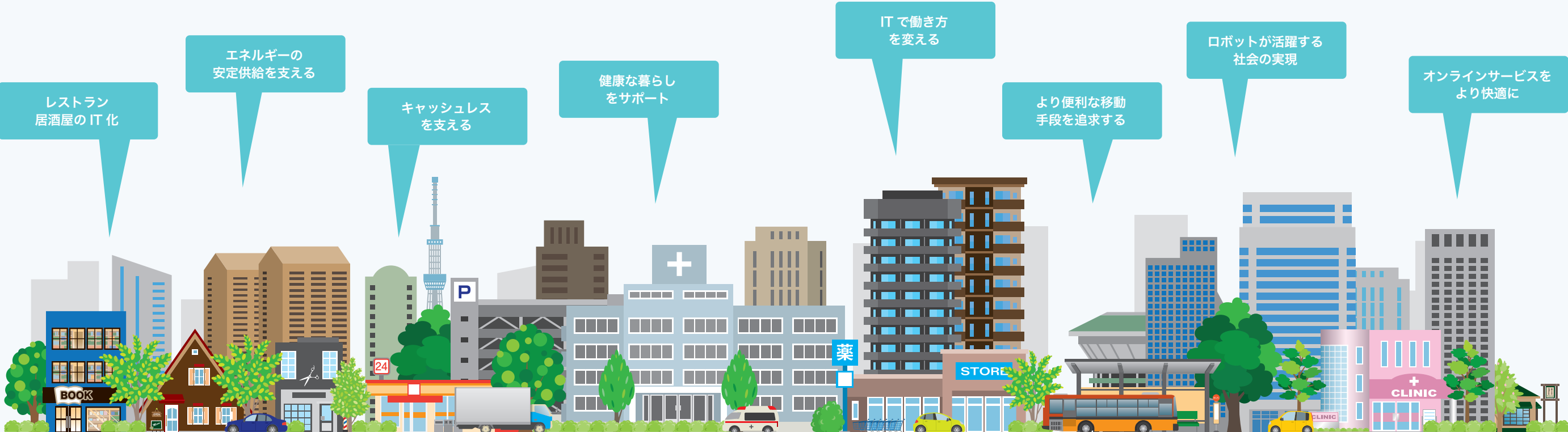
決済領域における圧倒的なプレゼンス

決済領域において日本を代表するシステムインテグレーターの地位を確立しています。また、SIビジネスで培ってきた強みを活かし、技術革新と決済の多様化に対応したサービス型ビジネスをいち早く推進しています。
3.

独立系による柔軟・スピーディーな経営戦略

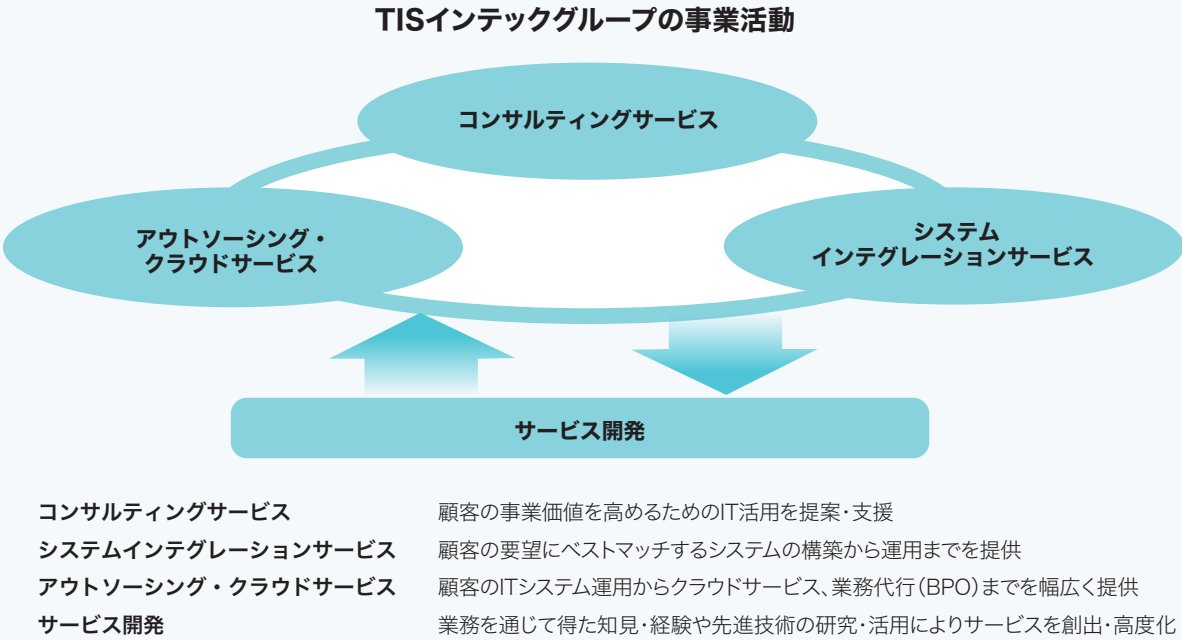
当社グループは、親会社を持たない独立系の最大手として国内トップクラスの地位を確立しています。支配株主を有さないことによる経営の独立性を活かして、迅速な意思決定に基づき、積極的かつ柔軟でスピーディーな事業展開を推進しています。

ITサービスの提供で様々な社会課題を解決
～こんなところにTISインテックグループ（一例）～



事業活動

当社グループはお客様企業に寄り添うITのスペシャリストとして、ITサービス全般を幅広く手掛け、ワンストップで最適なサポートを実現しています。ITサービスで社会の至るところにある当たり前を支えており、事業を通して、社会課題の解決に貢献しています。



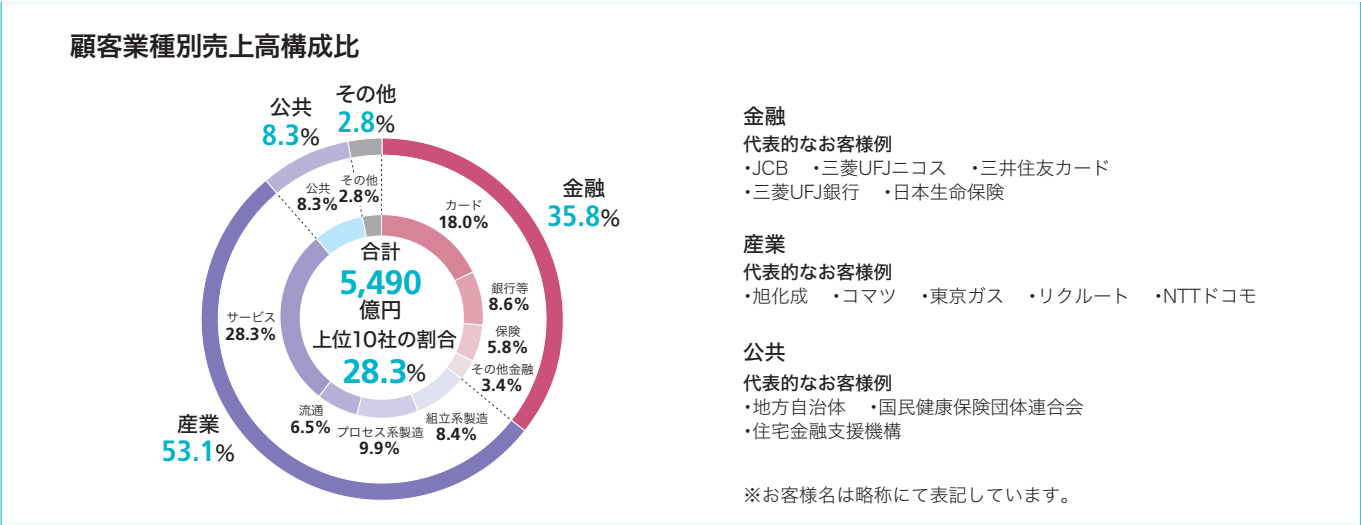
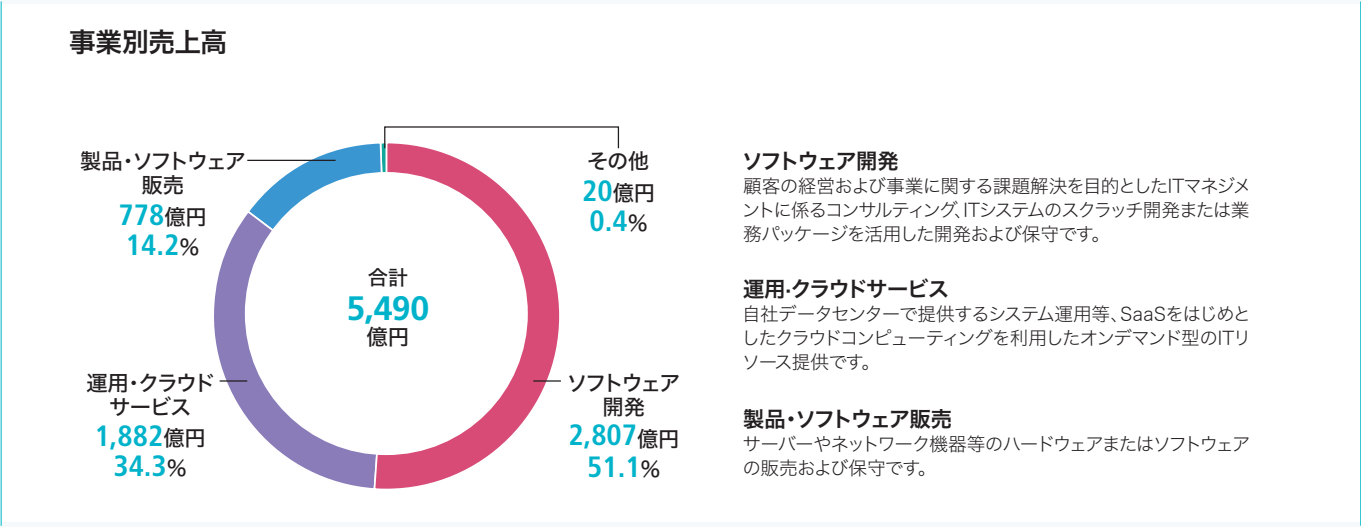
※当社ウェブサイト「こんなところにTISインテックグループ」
(<https://www.tis.co.jp/group/konnatokoroni/>)より



数字で見る TISインテックグループ (2024年3月期)

当社グループは、良好な財務健全性と資本効率性のもと、持続的な成長を果たしています。
2024年3月期は、顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確な対応を通じた事業拡大と、高付加価値ビジネスの提供等により、14期連続増収・13期連続営業増益を実現し、過去最高業績を更新しました。

連結売上高 5,490 億円	連結営業利益 645 億円	売上高営業利益率 11.8 %
連結 ROE 16.0 %	連結自己資本比率 59.5 %	格付 (2023 年 11 月 13 日現在) A+/安定的
グループ企業数 110 社 (当社 + 連結子会社 + 持分法適用会社)	グループ取引企業数 国内 約 15,000 社 海外 600 社以上	連結従業員数 21,972 人



以下は、お客様のビジネスを支え、皆様の生活や社会基盤を支えることに貢献する当社グループのITサービス例です。

安全・安心な日々の
クレジットカード決済を支援
クレジットカード
基幹システム開発実績

国内市場シェア
約**50%**
(取引のある顧客のクレジット年間取扱高ベース)

基幹システム開発において、クレジット
取扱高主要25社のうち11社と取引実績
を有する。
国内でのクレジットカードショッピング
信用供与額は年間94兆円。同11社の
カード会員数は約2億人に達し、クレジット
取扱高は全体の約50%を占める。

国内のキャッシュレス決済を推進
ブランドデビットカード
関連サービス提供/システム開発実績

国内市場シェア
80%以上

国内ではデビットカードの発行枚数が
4.6億枚に及び、国際ブランドと提携した
デビットカードを中心とした決済は年間
9.0億件、3.8兆円に増加。ブランドデビ
ットカードの発行・運営に必要なサービスを
ワン・ストップで提供する「ブランドデビ
ットプロセッシングサービス」等を通じ、取
扱金融機関ベースで80%以上と圧倒的な
シェアを誇る。

顧客接点発のデジタルデータ活用により
銀行ビジネス全体の推進を支援
「fcube(エフキューブ)」
導入実績

54行 / 99行
(地方銀行)

2024年3月、Amazon Connectと連
携した「フルクラウド型コールセンター
サービス」をローンチ。AIによる音声通話
のテキスト化や感情分析に対応。今後、生
成AIを活用した業務特化型ソリューショ
ンを加えたCRM(SFA)機能をマルチクラ
ウド、およびマイクロサービスで提供予定。

企業間取引における
業務DX(最適化・効率化)を支援
EDI
SaaS市場

業界シェア
約**20%**
※1

EDI/SaaS市場で業界第1位のシェア
を誇る。
遠隔2拠点での並列・分散処理(特許
技術)を実現した「EDIプラットフォーム
サービス」を投入。
さらに既存EDIと今後拡大が見込まれる
API領域を橋渡しするビジネス共創プラ
ットフォーム「産業OS」を進化させていく。

外食産業専門の店舗管理システムとして
高評価
TastyQube Growth
システム導入実績

約**20%**
(外食事業上位250社ベース)

「TastyQube Growth」は業態を問わ
ず利用可能な高い汎用性を有し、店舗経
営の見える化と業務の効率化を実現。
店舗管理に必要な機能をオールインワ
ンで提供可能なことが評価され、レストラ
ン・カフェ・居酒屋を中心に国内市場シェ
アは約20%に及ぶ。

電力自由化に伴う新電力の事業に貢献
「エネLink」
導入実績約30社50システム

新電力
上位**10社 / 30社**

2016年4月より始まった電力小売全面
自由化に伴い、エネLinkシリーズとして料
金計算システム、需給管理システムなどを
提供し新電力事業者の事業と日本の電力
システム改革に貢献。
安定供給、コスト低減、脱炭素化など産
業・生活の基盤である電力・エネルギー関連
の課題にこれからも継続的に対応していく。

安定した保険制度の基盤整備に貢献
国保連向け
システム導入・運用保守提供実績

11/47都道府県

全国47都道府県にある国民健康保険
団体連合会のうち、11の導入・運用保守
を担当。
11の保険加入者※2の合計は約460万
人に及ぶ※3。

顧客住所管理の効率化に貢献
全国住所マスター「ADDRESS」
損害保険業界における導入率

95%以上
(ペット保険、再保険など目的特化型の保険会社を除く)

日本全国の住所に10桁のコードを付
番し、約30万件のカナや漢字住所を収録
したマスターファイル。
顧客住所の市町村合併への変更対応
や住所情報の標準化、効率的な寄せ処
理などが可能で、損害保険業界では火災
保険料率算出時などに活用されている。

注：シェア等の市場データは当社グループ調べ/推定
※1 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2024年度版」EDI、SaaS/PaaS、ベンダーシェア、金額ベース、2023年度実績
※2 対象は国民健康保険制度
※3 2024年8月時点

イントロダクション

TISインテックグループは

実績が語る力...

未来を切り拓く...
中期ビジョンと価値創造ストーリー

価値創造への道筋...

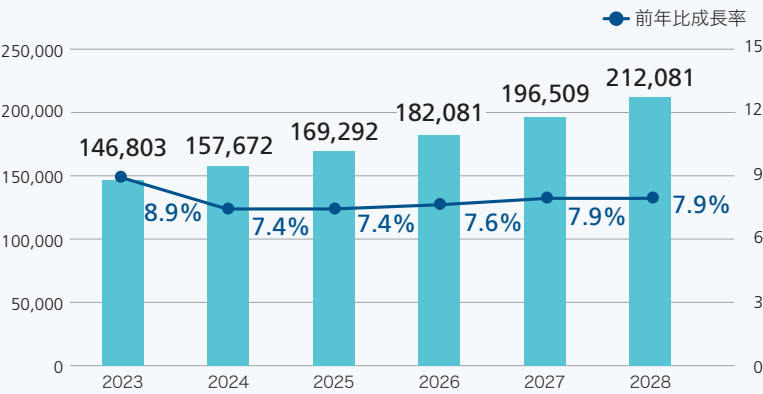
成長を支える基盤...
データ編

ITサービス市場における位置付け

当社グループは、企業におけるデジタル技術の積極的な活用等を背景として
持続的な成長が見込まれるITサービス市場において、
独立系・プライムコントラクターのリーディングカンパニーの地位を確立しています。

日本のITサービス市場規模予測

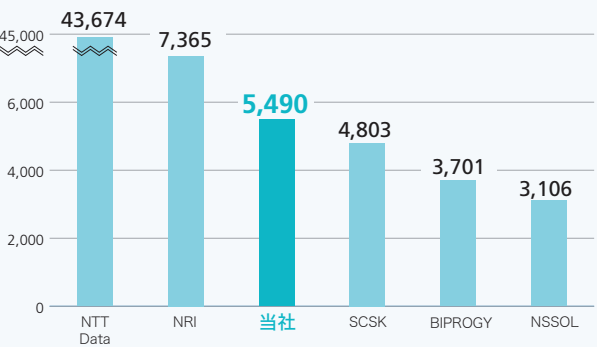
(単位：億円、%)



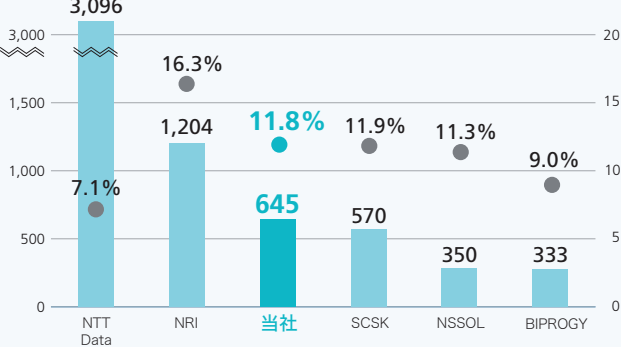
※ Gartner®, "Forecast: Services, Worldwide, 2022-2028, 2Q24 Update"
Srujan Akurathi, et al., 2024年6月28日
エンドユーザー支出額Constant Currencyベース
Garnerのリサーチを基にTISにて図表を作成。ここにある数値はTISにて算出。Convert to CurrencyでJapanese Yenを選択。
本書に記載するGartnerのコンテンツ (以下「Gartnerコンテンツ」) は、Gartnerシンジケート・サブスクリプション・サービスの一部としてGartner, Inc.(以下「Gartner」)が発行したリサーチ・オピニオンまたは見解を表すものであり、事実を述べているものではありません。Gartnerコンテンツの内容はいずれも、そのコンテンツが発行された当時の内容であり、本書が発行された日の内容ではありません。また、Gartnerコンテンツに記載されている見解は予告なく変更されることがあります。GARTNERは、Gartner Inc.または関連会社の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.

国内主要ITサービス企業比較 (2024年3月期) ※1

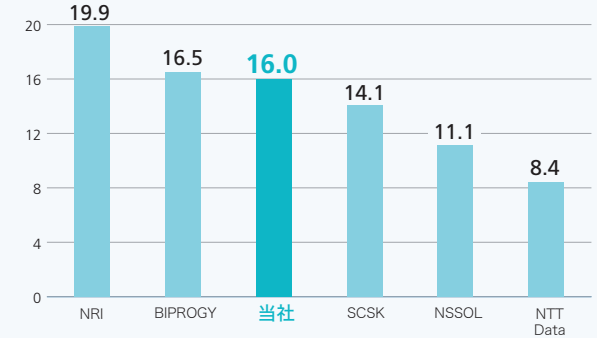
売上高 (単位：億円)



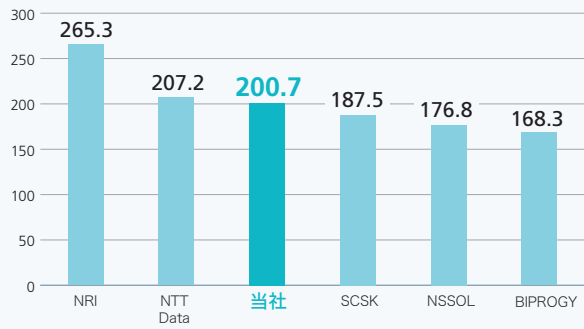
営業利益、営業利益率 (単位：億円、%)



ROE (単位：%)



株主総利回り (TSR) (単位：%)



※ 2019年3月末の株価を100%として算定しています。
※ 同期間の配当込みTOPIXの株主総利回りは196.2%でした。

※1 NTT Data、NRI、SCSK、BIPROGY、NSSOLはそれぞれ株式会社NTTデータグループ、株式会社野村総合研究所、SCSK株式会社、BIPROGY株式会社、日鉄ソリューションズ株式会社の略称です。
NTT Data、NRI、SCSK、BIPROGY、NSSOLは国際財務報告基準 (IFRS) を適用しています。